

# ユニオンファンド 月次レポート

第 191 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年10月4日作成

## MONTHLY TOPIC

### 日頃の疑問に答えてみます

#### つみたて投資は本当に優れているのか？

何事もそうですが人によります。既にお金がある人がつみたて投資にこだわる必要はありません。「株価は長期的に上がるので、まとめてより早く買う」との考え方もありえます。ただし、せめて数回に分けた方が良いでしょう。

お金がまだない人は、「そもそもお金がないからつみたてる」と考えてみてください。お金ができれば投資する、というのは違うと思います。月々1万円から投資できます（ユニオンファンドの場合）。ということで、1万円、なんとかしましょう。ワンコイン投資は40年続けても元本24万円。月々1万円ためられるように収支を見直すことから始めてみてください。安いところで自動的にたくさん買えるのも、つみたて投資の優れた点です。

#### 売りのタイミングは難しいと言われるが、なぜ？ また、いつ売れば良い？

株価は基本、上がり続けますから、どこで買ってもしずれ儲かり、どこで売ってもしずれ売値以上に株価は上がっていくものです（もちろん、すべてがそうではありませんが）。買って後悔することは少なく、売って後悔することが多いことは、売りが難しいと感じる一因かもしれません（他にも理由はありますが、今回は割愛します）。

最高の売りタイミングとは、「お金の出番が来た時」だと思います。売ったお金をとても大切な何かのために使う。その時は幸せマックスのはずです。大雑把なやり方ですが、それくらいで良いのではないのでしょうか。暴落前に売りたいと思う人は多いですが、暴落は頻繁には起こりません。「1割2割の下落ぐらいはいたしたことはない、少しぐらい減ったって、たくさん増えたのでまあいいか」と思える心の余裕は大切です。小さな損を避けようとすぎず、大きな利益をごっそり取り損なう、というのはよくある話です。

#### 正しく予想してうまくやりたいが、どうしたら良い？

上がるか下がるか、売るか買いかをしょっちゅう考える人がいますが、短期的には「上がることもあれば下がることもある」のが相場の世界。正しいと思ったことが間違っていたということもあれば、その逆もあります。結果は後でわかることなので、「どっちもあり」というくらいがちょうど良いでしょう。

今この時点で未来が決まっているわけではありません。大勢の人の選択の積み重ねが世界を変えていきます。その先に何があるか予想しきれるものではないです。なので、予想に時間と労力をかけすぎるのは無駄。今一番良いと思う方向にとりあえず一歩踏み出して、様子を見る。このまま進むか立ち止まるか、一旦後退するかは、その時また考えればよいのです。人間そうやって今日まで来たのですから、心配しなくても大丈夫（のはず）です。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2024年9月末現在)

## 基準価額

38,518 円

## 純資産総額

139 億 81 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	2.40%
1 年	14.19%
3 年	27.48%
5 年	66.29%
10 年	89.83%
設定来	285.18%

## 複利年率(%)

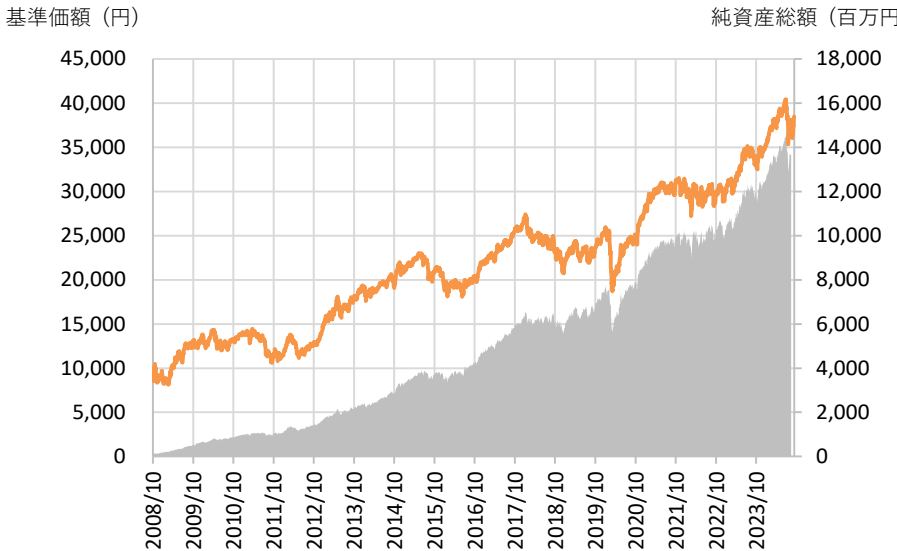
8.82%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

\* 設定来、分配の実績はありません。

## 基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

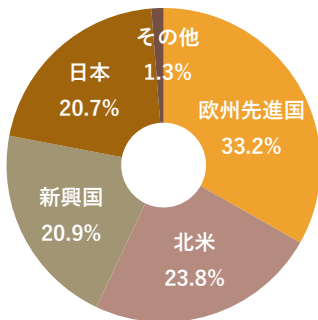


## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	3.7%
スパークス F	日本	12.8%	5.5%
キャピタル F	欧米	19.1%	-0.2%
ハリス F	欧米	18.8%	2.1%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.6%	2.2%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.7%	5.5%
現金等	-	13.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2024年8月末現在)

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2024年9月の市場動向と運用状況

## 投資環境

9月の世界の株式市場は、米国製造業の景況感が弱かったことや雇用の軟化、大手半導体企業の業績が期待ほどではなかったことなどから、前半は軟調に推移しましたが、その後は米国の利下げ期待が高まり、株価は上昇しました。米国FOMC（連邦公開市場委員会）では、市場予想より大きめの0.5ポイントの利下げが決定されました。事前に織り込まれていた部分もありましたが、株価をさらに押し上げました。

中国では、下旬に預金準備率と政策金利の引き下げといった金融緩和策に加え、株式市場や不動産市場への支援策が相次いで打ち出されたことから、株価は大幅かつ急激に上昇しました。新興国株は全体として堅調に値上がりしました。欧州では、ECB（欧州中央銀行）が追加利下げを行い株価も上昇しましたが、製造業を中心に景況感が引き続き冴えないことが重荷となりました。また、日本は、月末の自民党総裁選で日銀の利上げに否定的な候補が優勢と見られたことから上昇しましたが、選挙結果が異なるものとなったことから反落しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は上昇しましたが、市場全体よりも小幅でした。コムジェストEMFの買い増しを行いました。新興国株の割安感が強まっていたうえに、これまでマイナス要素だった米国の高金利が終わったと考えたためです。月末の組入比率は86.8%と、前月から若干上昇しました。

## 今後の見通し

株式市場への直接的なテコ入れ策が効いて中国株は大きく反発しています。これほど大きな株価上昇の背後にはまとまった資金の流入があると考えられます。続伸する可能性を軽視してはいけません。ただ、金融緩和や不動産市場の支援策が経済そのものにどの程度効果的か、という点については、期待が高まっている一方で懐疑的な評価も多く見られます。肝心なのは実体経済であり、その変化に引き続き注目していきます。日本では新政権が早期の解散総選挙を決めましたが、選挙結果が出るまで政治を気にする状況が続くそうです。

米国では、FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が、市場の予想ほど利下げピッチは速くはならない可能性があるとして述べました。金融緩和は市場の期待通りに進むとは限りません。足元で為替がドル高に戻り始めているのも、この発言の影響と思われる。景気は強いのか弱いのか、インフレはこのまま低下していくのかしないのか、相変わらずはっきりしない状態が続くと見えています。

こうした中、米国ではいよいよ11月5日に大統領選挙の投票日を迎えます。民主・共和両党の政策には、税制をはじめ大きく異なる点が多く、かつ両候補の支持は拮抗していますから、選挙戦の最終盤まで不透明感がぬぐえない状況となりそうです。また、イスラエルによるレバノンへの地上侵攻、イランによるイスラエルへの4月以来2回目の攻撃で、戦線の拡大や激化が懸念されています。

いつも以上に不確定要素が多いですが、紆余曲折はあれ、世界的にインフレは鎮静化していくでしょうし、ピッチはともかく政策金利も引き下げ継続でしょうから、中長期的な株価上昇基調に変わりはないと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

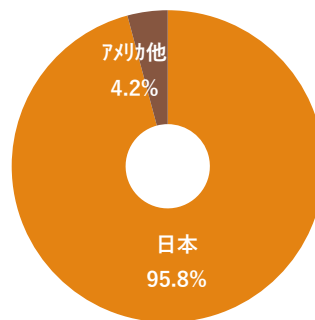
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



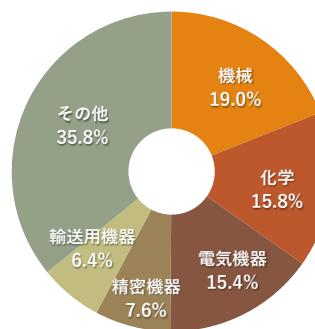
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	3.5%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
4 三菱重工業	2.9%	日本	機械	大手総合重機
5 ダイキン工業	2.9%	日本	機械	エアコン世界大手
6 日立製作所	2.7%	日本	電気機器	総合電機世界大手
7 プリマストーン	2.6%	日本	ゴム製品	夕竹世界大手
8 TOTO	2.5%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 花王	2.5%	日本	化学	トイレット首位
10 トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
上位10銘柄	29.7%		現金等	11.7%

業種別構成比



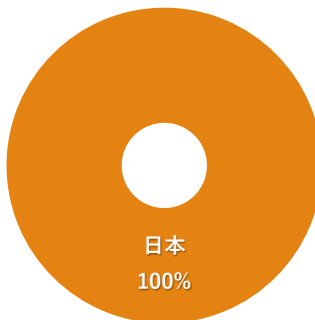
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年9月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



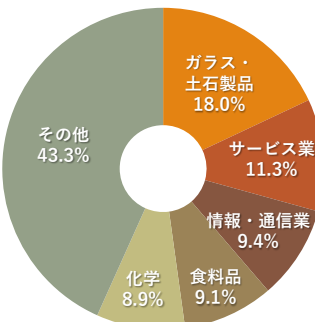
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
テレビ東京		日本	情報・通信業	日本経済新聞系の民放
現金等				4.8%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年8月末現在 >

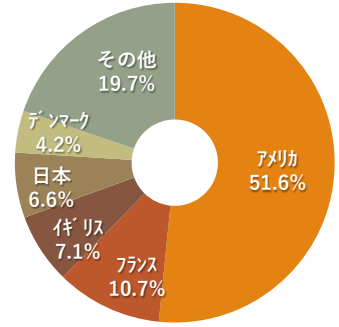
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



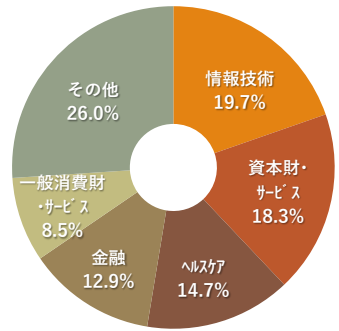
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 Alphabet	2.2%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 AstraZeneca	2.2%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
6 Apple	2.1%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
7 Safran	1.7%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
8 ASML	1.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 TotalEnergies	1.6%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
上位10銘柄	20.9%	現金等	5.8%	

業種別構成比



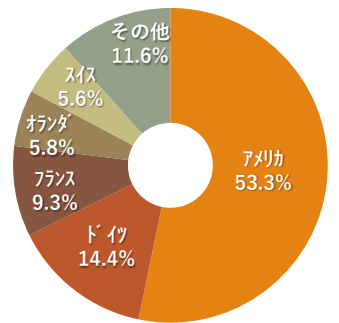
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年8月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



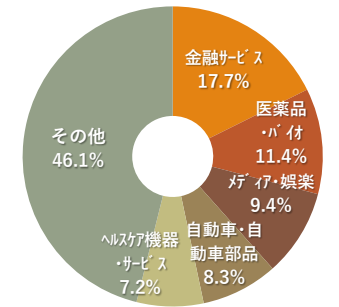
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 IQVIA	4.0%	アメリカ	医薬品・バイオ	薬品会社向け臨床研究・試験等
2 BAYER	3.9%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
3 FISERV	3.8%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
4 CNH INDUSTRIAL	3.6%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
5 BNP PARIBAS	3.5%	フランス	銀行	フランス大手銀行
6 MERCEDES-BENZ	3.5%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
7 CENTENE	3.2%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	医療保険プログラムの提供
8 CAPITAL ONE	3.1%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
9 INTERCONTINENTAL EXCHANGE	3.1%	アメリカ	金融サービス	金融取引所の大手運営会社
10 CHARTER COMMUNICATIONS	2.9%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
上位10銘柄	34.4%	現金等	3.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年8月末現在>

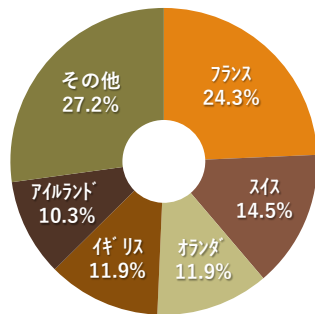
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



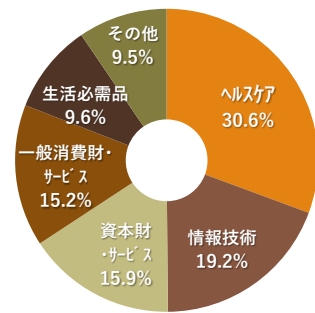
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	7.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	7.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ESSLORLUXOTTICA	4.9%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 ALCON	4.2%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
5 EXPERIAN	4.1%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
6 ACCENTURE	3.9%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
7 STRAUMANN HD	3.8%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 SCHNEIDER ELECTRIC	3.6%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
9 DASSAULT SYSTEMES	3.4%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフト会社
10 FERRARI	2.8%	イタリア	一般消費財・サービス	高級スポーツカー
上位10銘柄	45.0%	現金等	3.3%	

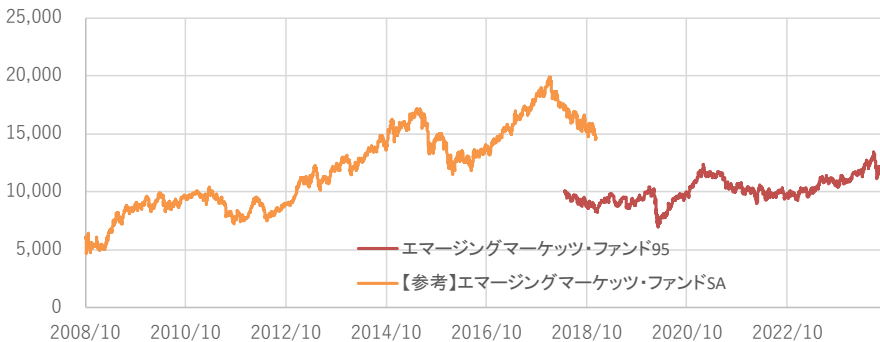
業種別構成比(マザーファンド)



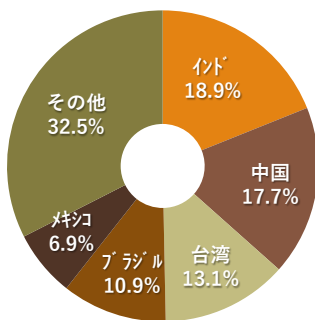
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年9月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



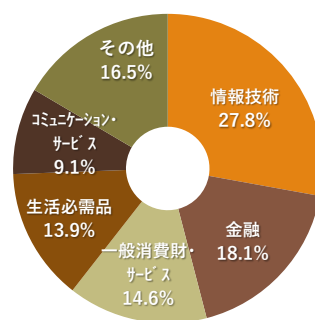
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	9.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 TENCENT	6.5%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
3 MERCADOLIBRE	4.6%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
4 SAMSUNG ELECTRONICS	4.0%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 WEG	3.9%	ブラジル	資本財・サービス	電動機、変圧器
6 ASML	3.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 MARUTI SUZUKI	3.8%	インド	一般消費財・サービス	SUVの子会社
8 DELTA ELECTRONICS	3.8%	台湾	情報技術	電源、変圧器
9 POWER GRID OF INDIA	3.7%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
10 DISCOVERY	3.3%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
上位10銘柄	46.6%	現金等	1.1%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年9月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## ファンド売買の申込締切時間の変更について

**2024年11月5日から**、東京証券取引所における立会内取引の終了時間が30分延伸されます。

これに合わせて、弊社でも同日以降、ユニオンファンド売買の申込締切時間を原則毎営業日 **15時30分まで**とさせていただきます。

- ◎ この時間までに弊社での事務手続きが完了したものが当日の取扱い（申込受付分）となります。  
（15時30分以降に手続きが完了したものは、翌営業日扱いとなります。）
- ◎ 購入・解約のキャンセルにつきましても、15時30分までとなります。

※11月3日（日）に新システムの稼働判定が予定されており、その結果立会内取引の終了時間の延伸が延期された場合には、ユニオンファンドの申込締切時間の変更につきましても延期させていただくことがあります。

## NISA口座 金融商品取引業者等（金融機関）の変更について

現在 NISA 口座を開設されているが、他の金融機関に NISA 口座を開設し取引されたい場合は、1年ごとに NISA 口座で取引を行う金融機関を変更することができます。

2025年からの金融機関変更の申込受付期間は、2024年10月～2025年9月です。

## 《他の金融機関からユニオン投信へ変更をされる場合》

1. 現在 NISA 口座を開設している金融機関で金融機関変更の手続きを行っていただき、当該金融機関から「勘定廃止通知書」または「非課税口座廃止通知書」をご取得ください。
2. 弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話にて NISA 口座開設に必要な「非課税口座開設届出書」をご請求ください。  
（弊社の総合取引口座をお持ちでないお客様の場合は、別途総合取引口座の開設も必要になります。）
3. 取得した廃止通知書と弊社の NISA 口座開設に必要な書類をご一緒に提出ください。

## 《ユニオン投信から他の金融機関へ変更をされる場合》

1. 弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話にて金融機関変更の手続書類をご請求いただき、書面による手続きを行ってください。
2. 手続き完了後、弊社より「勘定廃止通知書」または「非課税口座廃止通知書」を交付いたします。
3. 弊社から交付した廃止通知書を添付して変更先の金融機関にて所定の手続きを行なってください。

※変更を希望する年に NISA 口座で買付を行っておらず、かつ、その年の9月末までに変更後の金融機関での手続きが完了する必要があります。

※変更を希望する年の1月から9月までの間に、変更前の NISA 口座ですすでにお取引を行っている場合は、その年の金融機関の変更はできません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## 取引残高報告書について

今回、「2024年7月～9月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。  
※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

## 「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
( 預り区分 )	評価金額	受取金額 [c]		
( 決算日 )	取得単価	個別元本		

預り区分	課税口座（特定口座または一般口座）での預り、非課税口座（NISA 口座）をご利用の場合は「NISA（該当預りの適用年）」を表示。
数量	預り区分ごとのユニオンファンドの残高口数。
基準価額	作成日（2024年9月30日）現在の基準価額。
評価金額	預り区分ごとの作成日現在の残高の「評価金額」。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。）
取得単価	預り区分ごとのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。 ※ NISA 口座でのお取引の場合は、非課税であるため参考の値です。 ※ 一般口座でのお取引の場合は、表示されません。
個別元本	全預り区分通算でのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。

以下[a]、[b]、[c]は、一つの預り区分の欄にまとめて記載（全預り区分通算の値）。

評価金額合計 [a]	評価金額の合計。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

## 【NISA 口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。\*

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書（圧着はがき）」においても、NISA 口座でお取引された場合には、その年の作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

※システムの仕様上、「つみたて投資枠」についても記載されておりますが、弊社では「つみたて投資枠」対象商品の取り扱いはありません。「成長投資枠」のみのご利用となります。

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。



## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8%±0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。